



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
 コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,202	2.8	38	78.2	41	161.6	29	24.4
2020年3月期第2四半期	2,265	0.8	21		15		38	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.61	
2020年3月期第2四半期	0.81	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,264	3,802	46.0
2020年3月期	8,509	3,792	44.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,802百万円 2020年3月期 3,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		1.00	1.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定です。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,840	2.5	75	110.0	70	225.3	50	838.4	1.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の業績につきましては、当社平年度の事業遂行を前提として予想しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、業績予想が修正される可能性があります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	48,849,935 株	2020年3月期	48,849,935 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	887,909 株	2020年3月期	923,309 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	47,942,568 株	2020年3月期2Q	47,876,294 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、従業員持株会支援信託ESOPが所有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の第2波ともいえる拡大が世界中で見られ、その影響で経済活動は全般的に低調に推移しました。主要国においては4～6月は概ね大幅なマイナス成長であり、7～9月はその反動で若干のプラスに転じていますが、中国以外の主要国は依然として厳しい経済情勢が続きました。また、今後についても、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン等の根本的な対策が確立されるまで、世界経済の先行きは極めて不透明であると考えております。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の売上高は、製品商品売上高が2,014百万円（前年同期比2.3%増）および作業屑売上高が187百万円（前年同期比36.7%減）となり、合計で2,202百万円（前年同期比2.8%減）となりました。製品商品売上高のうち、LPガス容器用弁および設備用弁は前年同期比で減少しましたが、車載用、船舶用およびバルク付属機器は前年同期比で増加しました。作業屑売上高の減少は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全社で可能な限りの休業を実施した為に、工場の作業屑の発生が抑えられた影響によるものです。

損益面につきましては、上記のように積極的に休業を実施しましたが、製品商品売上高を若干ながら増加させることができ、また、全社的に経費削減に取り組みましたので、営業利益は38百万円（前年同期比78.2%増）、経常利益は41百万円（前年同期比161.6%増）と大幅に改善することができました。なお、四半期純利益は29百万円（前年同期比24.4%減）と前年同期比減少しましたが、これは前年においては特別利益を29百万円計上していた影響によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、220百万円減少して3,652百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加53百万円および受取手形及び売掛金の増加13百万円による一方で、商品及び製品の減少313百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、25百万円減少して4,611百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加29百万円および投資その他の資産その他の増加12百万円による一方で、建物（純額）の減少12百万円および機械及び装置（純額）の減少52百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、245百万円減少して8,264百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、141百万円減少して2,322百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加45百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少91百万円および流動負債その他の減少97百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、114百万円減少して2,139百万円となりました。これは主に、債務保証損失引当金の増加5百万円による一方で、長期借入金の減少119百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、255百万円減少して4,461百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、9百万円増加して3,802百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加23百万円および自己株式の減少5百万円による一方で、四半期純利益29百万円および剰余金の配当48百万円による利益剰余金の減少18百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の44.6%から46.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、53百万円増加（前第2四半期累計期間は157百万円の減少）して179百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は197百万円（前第2四半期累計期間は228百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額83百万円、たな卸資産の減少額304百万円および助成金の受取額57百万円により増加する一方で、仕入債務の減少額91百万円、割引手形の減少額97百万円および休業手当の支払額58百万円により減少するものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19百万円（前第2四半期累計期間は20百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入4百万円により増加する一方で、有形固定資産の取得による支出23百万円により減少するものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は124百万円（前第2四半期累計期間は91百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純増額45百万円により増加する一方で、長期借入金の返済による支出113百万円および配当金の支払額48百万円により減少するものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、「2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を公表いたしました。が、通期業績予想につきましては、2020年5月8日発表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	198,953	252,174
受取手形及び売掛金	975,785	989,458
商品及び製品	2,055,755	1,741,771
仕掛品	29,474	32,887
原材料及び貯蔵品	594,335	600,533
その他	20,298	37,386
貸倒引当金	△1,377	△1,377
流動資産合計	3,873,226	3,652,834
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	378,235	365,900
構築物(純額)	55,993	56,124
機械及び装置(純額)	934,006	881,037
車両運搬具(純額)	916	636
工具、器具及び備品(純額)	41,692	37,761
土地	2,441,000	2,441,000
リース資産(純額)	108,416	103,310
建設仮勘定	30,535	36,057
有形固定資産合計	3,990,795	3,921,828
無形固定資産	14,629	16,506
投資その他の資産		
投資有価証券	300,730	330,045
その他	338,209	350,953
貸倒引当金	△8,100	△8,100
投資その他の資産合計	630,840	672,898
固定資産合計	4,636,264	4,611,234
資産合計	8,509,491	8,264,068

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	472,153	380,940
短期借入金	1,355,000	1,400,600
1年内返済予定の長期借入金	233,882	238,892
未払法人税等	26,510	23,798
賞与引当金	41,942	41,364
その他	333,763	236,426
流動負債合計	2,463,252	2,322,021
固定負債		
長期借入金	1,115,380	996,380
再評価に係る繰延税金負債	731,471	731,471
退職給付引当金	255,888	255,809
役員退職慰労引当金	49,753	53,884
債務保証損失引当金	—	5,000
その他	100,791	96,588
固定負債合計	2,253,285	2,139,134
負債合計	4,716,537	4,461,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,993,096	1,993,096
資本剰余金	4,217	4,217
利益剰余金	197,345	178,472
自己株式	△141,279	△135,544
株主資本合計	2,053,379	2,040,241
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,907	64,005
土地再評価差額金	1,698,666	1,698,666
評価・換算差額等合計	1,739,574	1,762,671
純資産合計	3,792,954	3,802,912
負債純資産合計	8,509,491	8,264,068

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,265,732	2,202,277
売上原価	1,837,815	1,807,289
売上総利益	427,916	394,987
販売費及び一般管理費	406,091	356,091
営業利益	21,825	38,896
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	6,295	5,834
不動産賃貸料	2,986	2,945
スクラップ売却益	2,162	834
助成金収入	—	70,452
その他	2,450	3,209
営業外収益合計	13,902	83,279
営業外費用		
支払利息	10,096	10,893
支払手数料	3,049	—
手形売却損	4,666	3,814
休業手当	—	60,393
債務保証損失引当金繰入額	—	5,000
その他	2,048	572
営業外費用合計	19,861	80,674
経常利益	15,866	41,500
特別利益		
投資有価証券売却益	18,468	338
役員退職慰労引当金戻入額	10,725	—
特別利益合計	29,193	338
特別損失		
固定資産除却損	0	57
特別損失合計	0	57
税引前四半期純利益	45,060	41,782
法人税、住民税及び事業税	6,328	12,499
法人税等合計	6,328	12,499
四半期純利益	38,731	29,282

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	45,060	41,782
減価償却費	92,616	92,910
助成金収入	—	△70,452
休業手当	—	60,393
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,468	△338
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,603	△578
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,167	△79
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△35,350	4,131
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	5,000
受取利息及び受取配当金	△6,303	△5,837
支払利息	10,096	10,893
固定資産除却損	0	57
売上債権の増減額(△は増加)	303,976	83,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221,903	304,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△154,486	△91,213
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,314	△54,637
割引手形の増減額(△は減少)	△91,574	△97,562
その他	△119,037	△66,652
小計	△220,253	216,080
利息及び配当金の受取額	6,302	5,839
利息の支払額	△10,762	△10,749
助成金の受取額	—	57,224
休業手当の支払額	—	△58,197
法人税等の支払額	△4,169	△12,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228,881	197,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,108	△23,973
無形固定資産の取得による支出	△200	—
投資有価証券の取得による支出	△521	△565
投資有価証券の売却による収入	49,942	4,671
定期預金の増減額(△は増加)	17,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,887	△19,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	168,001	45,600
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△115,980	△113,990
セール・アンド・リースバックによる収入	38,500	—
自己株式の処分による収入	4,818	3,558
配当金の支払額	△95,990	△48,057
その他	△7,475	△11,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,873	△124,188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,895	53,220
現金及び現金同等物の期首残高	229,680	125,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,785	179,174

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。